

2019

10月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第182号-①【基準日 2019年9月30日】



## 🌸 社長メッセージ



### 消費増税について

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も10月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？先月の令和元年台風第15号の影響による停電により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。

今回の台風とそれに伴う停電による被害を受けて、改めて自然災害の脅威と都市インフラの脆弱性を痛感するとともに、災害に対しては普段からいつでも起こり得ることとして対策を考えて備えておくことの必要性和重要性を再認識いたしました。

さて、今月から消費税が8%から10%に増税されました。今回は軽減税率の導入やキャッシュレス決済によるポイント還元、住宅ローン減税の拡充など増税の影響を和らげる対策が充実しており、駆け込み需要とその反動減が少ないと見られていますが、今後、国内消費への悪影響はじわじわと出てくるのではないかと思います。



日本の財政状態を考えれば消費増税はやむを得ないと考えられますが、少子高齢化で増え続ける社会保障費を抑制しなければ増税も結局は焼け石に水です。反対に景気が悪化すれば税収も減ってしまうことになり、ますます財政は厳しくなります。現在の仕組みは既に制度疲労を起こしていて抜本的な見直しが求められていることは誰の目にも明らかですが、年金給付の抑制や医療負担増には誰もが抵抗があり、スピード感のある改革や見直しがなかなか進まず対処療法的に取りやすいところ、声の小さいところにしわ寄せが行っているのではないかと思います。日銀の金融緩和の副作用の問題でもそうですが、とりあえず目先なんとかする対応で将来どうするのかの出口の議論もできず、次の世代に負担の先送りをしているのが日本の現状ではないかと思います。果たしてそれで持続可能性があると言えるのかは大いに疑問に感じるところであります。

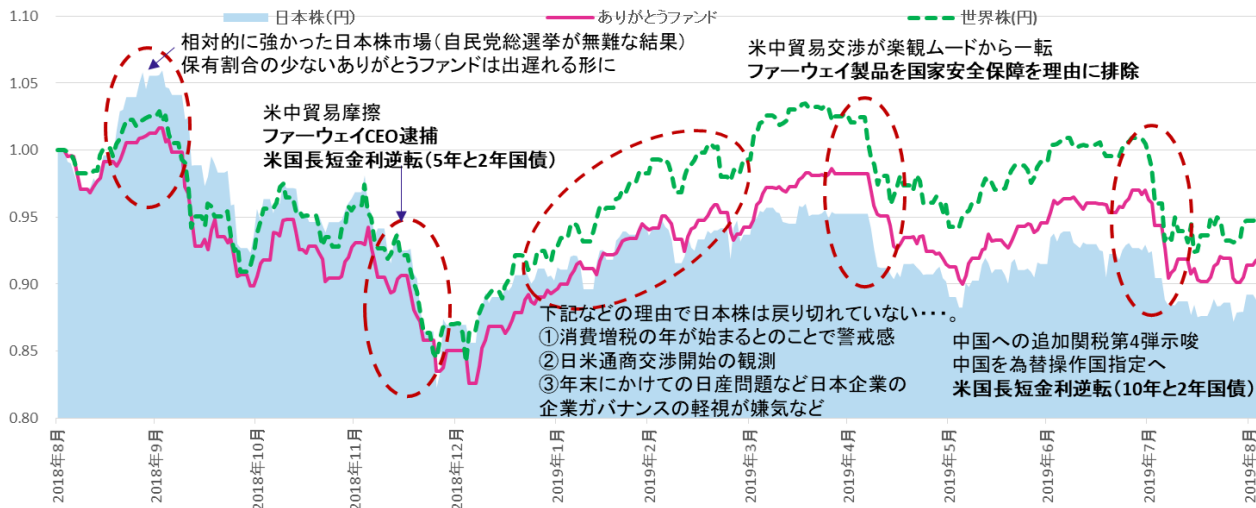
先月のマーケットは、相変わらず米中貿易摩擦と通商交渉の動向に左右される展開で、米国FRB(連邦準備制度理事会)は追加利下げを実施し、ECB(欧州中央銀行)も金融緩和に舵を切る中、日銀は追加の金融緩和を温存しつつ、何かあれば躊躇なく行動するスタンスを示しました。8月の過度な景気下振れ懸念から反転してバリュー相場となり株式市場は総じて反発しました。特に世界の景気敏感株と言われる日本株は大きく上昇しました。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

現在、ありがとうファンドの第15期運用報告会を9月末より全国で開催しておりますが、ここで簡単に第15期の運用状況についてご説明させて頂きたいと思っております。

まず、ありがとうファンドの昨年8月末から9月2日までの1年間の運用状況のパフォーマンスについては、世界株に対して米国株のウェイトが相対的に少ないため出遅れましたが、日本株に対してはアウトパフォームいたしました。期前半でのマイナス寄与が大きく、後半は米中貿易摩擦の動向に左右されるボックス相場で推移いたしました。価格変動リスク(標準偏差)については、引き続き世界株、日本株に対しても低位に抑えて運用することができました。



投資先ファンドについては、総じて調整してマイナスであった中、ABアメリカングロースファンドと金ETFは年間を通じてプラスになりました。アメリカングロースは成長企業を厳選して投資している銘柄選択効果が効き、金ETFは株価調整局面で有事の金として買われたことにより大きく上昇いたしました。

一方で、米中貿易摩擦により、特に半導体・ハイテク銘柄が大きく調整し出遅れる要因となりましたが、中長期的には自動車の電動化など追い風が吹いており、成長トレンドに変化はないと考えておりますので、徐々に株価は適正水準に戻ってくると考えております。

ありがとうファンドの運用戦略の大きな特徴にリスクを抑えた運用があり、特にダウンサイドリスクの抑制を意識しております。株式市場の上昇相場の局面では、相場についていき、下落相場では相場より下げない運用を長期で継続することで、全体のリスクを抑えながら安定したパフォーマンスを提供することを目指して運用しております。

今後の運用方針としては、引き続き国際分散として、新興国は超長期の伸びしろを考慮して時価総額比に対して多めにし、先進国は米国と欧州を同等の保有割合でキープし、日本については金融緩和の副作用及び人口動態からくる財政状況等構造的に問題が山積みなので時価総額に対して低位保有とし、リスクオフ局面、金利低下環境で相対的に価値向上が金ETFの保有を継続していく方針です。開催中の第15期運用報告会では、今後の見通しや投資先銘柄の紹介についても詳しくご説明させて頂いております。是非ご参加頂ければ幸いです。

今後も弊社ではお客様の資産運用を一生涯サポートしていただけるように、役職員一同、力を合わせて精進して参りますので、今後ともありがとう投信を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	17,645円	1.02%
3年	17,653円	0.97%
5年	16,623円	7.22%
初回(2004年10月)から	11,428円	55.97%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、15年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでているのがわかるかと思います。

2019年9月30日現在(基準価額:17,824円)

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。



## セミナーのお知らせ

参加人数に限りがございます。お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

## ありがとうファンド第 15 期運用報告会

開催地	開催日	時間	場所
札幌	10月5日(土)	13:30~15:30	かでの2. 7(北海道立道民活動振興センター)1020会議室
仙台	10月12日(土)	13:30~15:30	仙都会館7階B会議室
大阪	10月19日(土)	13:30~15:30	大阪府立男女共同参画・青少年センター (ドーンセンター)セミナー室2
名古屋	10月20日(日)	9:30~11:30	ウインクあいち(愛知県産業労働センター)1005
福岡	10月26日(土)	13:30~15:30	アクロス福岡 会議室503

## 第 15 期運用報告書交付のお知らせ

9月2日にありがとうファンドの第15期決算を行いました。

決算日時点でありがとうファンドを保有しているお客さまには、「交付運用報告書」をマイページ上での交付、または郵送させていただきましたので、ご確認いただきますようお願いいたします。

また、ホームページ上にも運用報告書を公開しております。

こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/report/#report>)からご覧ください。

## FPサービスのホームページを公開しました！

5月より新たに開始したFPサービスのホームページを公開いたしました。

FPサービスは、弊社に口座お持ちのお客さまを対象としたFP相談サービスです。

家計のキャッシュフロー表の作成に基づいて、現状分析、総合診断からライフプラン提案書の作成までのお手伝いをさせていただきます。また、今後の資産形成プランや資産取崩プランのアドバイスもさせていただきます。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/fp/>)をご覧ください。

## 2019年 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2019年 10月分	受付終了	受付終了	10月7日(月)	10月18日(金)
2019年 11月分	受付終了	10月24日(木)	11月6日(水)	11月18日(月)
2019年 12月分	11月5日(火)	11月26日(火)	12月6日(金)	12月18日(水)
2020年 1月分	12月5日(木)	12月19日(木)	1月6日(月)	1月17日(金)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

10月	-	-	-
11月	1日(金)	万聖節	ルクセンブルクの銀行休業日
	28日(木)	感謝祭	ニューヨーク証券取引所休業日
12月	25日(水)	クリスマス	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
	26日(木)	ボクシング・デー	ルクセンブルクの銀行休業日



## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

# ありがとうファンド 第15期運用報告会

ありがとうファンドの第15期運用報告会を9月下旬より全国6都市で開催いたします。  
当社代表とファンドマネージャーより第15期の運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させていただきます。

おかげさまで「ありがとうファンド」は2019年9月2日に15周年を迎えます♪

東京

2019年9月28日(土) **終了しました**  
ありがとう投信株式会社 本社3F

札幌

2019年10月5日(土) 13:30~15:30  
かでの2. 7(北海道立道民活動振興センター)1020 会議室

仙台

2019年10月12日(土) 13:30~15:30  
仙都会館7F-B

大阪

2019年10月19日(土) 13:30~15:30  
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)  
セミナー室2

名古屋

2019年10月20日(日) 9:30~11:30  
ウイंकあいち(愛知県産業労働センター) 1005

福岡

2019年10月26日(土) 13:30~15:30  
アクロス福岡 会議室503



代表取締役社長  
長谷俊介



ファンドマネージャー  
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL : <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール : 0800-888-3900

